

第3回日立市コミュニティ活動の在り方検討委員会について（報告）

1 主な意見

- (1) 市民にとって住みよい、幸せなまちになるためにコミュニティが果たすべき役割は何かを考えることが大前提である。そのために、今までのコミュニティの延長ではなく、新しいコミュニティの在り方を示す必要がある。
- (2) コミュニティと行政との協働体制が上手く仕組みとして確立されていないと感じる。協働の在り方について新しい仕組みをつくっていく必要がある。
- (3) 郷土日立に長く住み続けたいという思いがある若い世代はたくさんいるので、この住みやすいまちをコミュニティとともに若い人たちがつくっていくことが理想である。
- (4) 学生の意見にもあるとおり、コミュニティ活動に参加する新たな機会の創出が必要である。

2 論点の整理

- (1) 新たな時代にふさわしいコミュニティ組織について
 - ア コミュニティ組織の在り方
 - イ 自治会・町内会とコミュニティとの関係性
 - ウ 各種団体とコミュニティとの関係性
 - エ コミュニティと行政との協働体制

- (2) 市民が求めるコミュニティ活動について
 - ア 防災・防犯や地域福祉など活動分野の選択
 - イ コミュニティと行政の役割分担
 - ウ 有償ボランティアの導入

- (3) 市民意識の醸成について
 - ア コミュニティや自治会・町内会活動に参加する新たな機会の創出
 - イ 若い世代にコミュニティ活動に参加してもらう手法
 - ウ フリーライダーを防止する住民同士の顔が見える関係の構築

以上